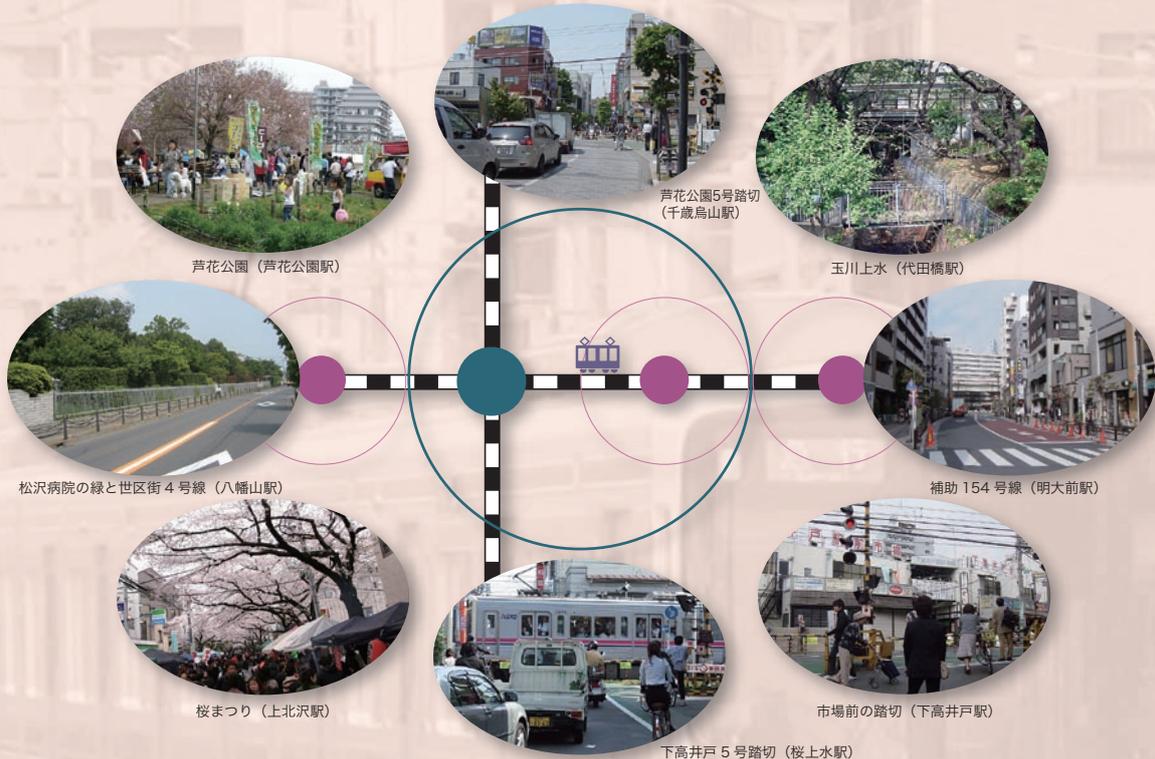


京王線沿線まちづくり通信

発行：2008年4月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

- 2面・3面 ▶ ① 京王線沿線地域まちづくりの課題（京王線沿線街づくりアンケート調査）
- 4面・5面 ▶ ② まちづくりの進め方（沿線地域の位置付け、沿線における駅的位置付け）
- 6面 ▶ ③ 地区まちづくりの動き（沿線街づくりの流れ、各駅周辺地区街づくり協議会の紹介）



京王線沿線地域（代田橋～仙川駅付近）は、世田谷区の北部（一部杉並区を含む）に位置し、都心に近く利便性の高い地域として今後も一層の発展が期待されます。

しかし、この地域には道路や公園などの都市基盤整備が遅れている地域が残り、開かずの踏切による道路渋滞の発生や地域の分断など、沿線地域は様々な問題を抱えています。

区では沿線にお住まいの皆さまが生活環境やまちづくりにどのようなご意見・要望をお持ちかをお聞きするため、「京王線沿線街づくりアンケート調査」を実施しました。また、各駅周辺においては地域の皆さんの発意により、街づくり協議会が発足するなどまちづくり活動が活発になってきています。

この度、このような京王線沿線まちづくり情報を沿線にお住まいの皆さまにお伝えするため、「京王線沿線まちづくり通信」を発行することになりました。今後も沿線まちづくり情報を発信していきますので皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いします。

世田谷区「開かずの踏切」※ 解消促進大会

昨年6月、第3回世田谷区「開かずの踏切」解消促進大会（主催：世田谷区「開かずの踏切」解消促進協議会、共催：京王線立体化推進協議会）を烏山区民センターにて開催しました。

大会では、多くの皆さんの参加により区内で最も多い23箇所の開かずの踏切を抱える京王線を重点的に取り組むことを決議しました。



区長挨拶の様子

※開かずの踏切：ピーク時1時間に40分以上遮断している踏切

会場の様子

アンケート調査の結果から見た各駅周辺地区の課題

代田橋

- ・ 駅周辺商業施設の充実
- ・ 駅アクセス性の向上と駐輪場の整備
- ・ 玉川上水緑道や和田堀給水場を活かした憩いの空間づくり

上北沢

- ・ 駅周辺商業施設の充実
- ・ 後背住宅地の環境保全
- ・ 街づくりと桜並木の保全との調和

明大前

- ・ 商店街の魅力向上と商業施設の充実
- ・ 駅前広場と接続道路の整備
- ・ 周辺に立地する学校と連携した街づくり

八幡山

- ・ 駅周辺商業施設の充実
- ・ 駅前への公共交通機能の集約
- ・ 松沢病院の緑等周辺の自然環境を活かした街づくり

下高井戸

- ・ 既存商店街の賑わいを活かした駅周辺街づくり
- ・ 駅前広場の整備と歩行者空間の確保
- ・ 駐輪場整備等による放置自転車の削減

芦花公園

- ・ 駅周辺商店街の活性化
- ・ 歩行者空間を確保した道路整備による駅アクセス性の向上
- ・ 芦花公園や世田谷文学館への玄関口としての駅周辺整備

桜上水

- ・ 駅周辺商業施設の充実
- ・ 駅前広場と周辺道路ネットワークの整備
- ・ 南北交通（バス交通）の整備

千歳烏山

- ・ 歩行者空間の確保及び駐輪場整備による商店街の魅力向上
- ・ 駅前広場と周辺道路ネットワークの整備
駅及び周辺施設のバリアフリー化
- ・ 烏山区民センターを活かした街づくり



沿線地域の街づくりの課題

生活拠点の整備

まちの中心となっている駅周辺の街並み改善や商店街の活性化、防災機能の向上を図り、それぞれ地区ごとの個性を活かした生活拠点の整備

交通結節機能の強化

地域の特性にふさわしい交通手段に応じ、駅前広場や駅へのアクセス道路等、交通結節機能の強化

道路ネットワークの形成

地域交通の円滑化や道路交通環境の改善、災害時の避難路確保のため、地域の骨格となる道路ネットワークの形成

沿線市街地の一体化

鉄道による地域分断の解消を図り、沿線市街地の一体化・地域交流の活性化

② まちづくりの進め方

沿線地域の位置付け(世田谷区都市整備方針)

世田谷区都市整備方針における「都市づくりの骨格プラン」では、京王線沿線地域は、地域生活拠点に明大前駅、下高井戸駅、千歳烏山駅の3駅が位置付けられています。

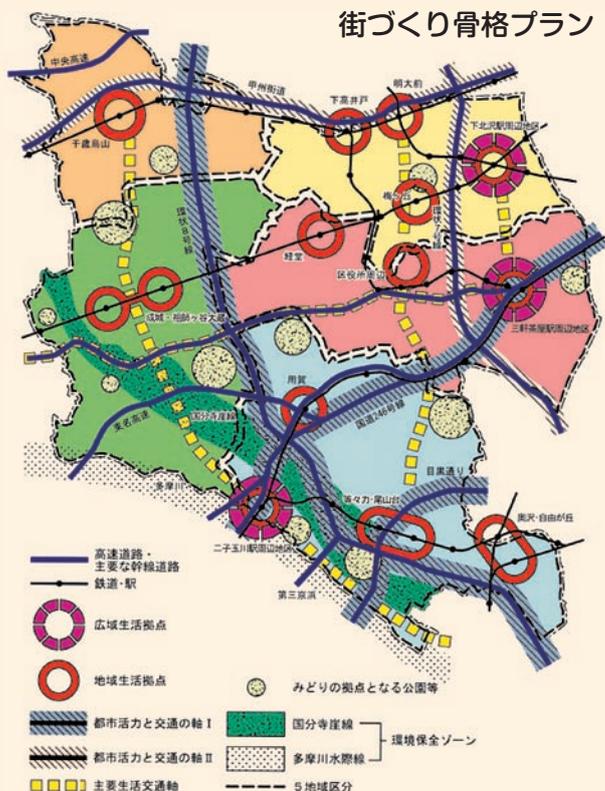
また、京王線沿線の北沢地域、烏山地域の地域整備方針の基本目標は以下のように定められています。

〈北沢地域〉

- ①機能の充実した環境のよい拠点の形成
- ②適切な交通ネットワークの構築
- ③地区特性に応じた住環境の整備
- ④農地や低・未利用地などの公共的空間の適切な活用

〈烏山地域〉

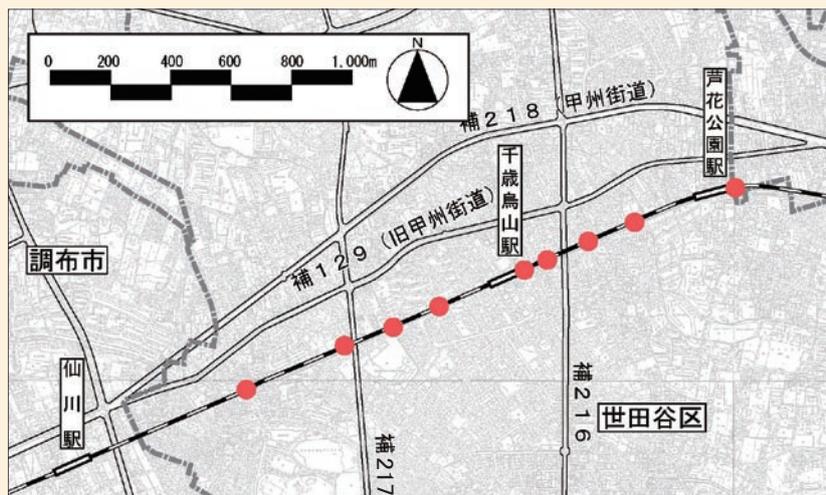
- ①地域の魅力と個性をはぐくむ拠点の形成
- ②基盤の整った緑豊かな住宅地の形成
- ③地域をつなぎ、ふれあいを生むネットワークの形成



| 区の都市整備方針での位置づけ | 交通結節機能からみた位置づけ | | 駅名 |
|----------------|--------------------|---|-------------|
| 地域生活拠点 | 地域における広域性を有する交通結節点 | 地域の拠点としての広域性を有する交通結節点として、駅前広場、アクセス道路などを整備し、鉄道相互や各交通手段との結節性の向上を図る。 | 明大前 |
| | | | 下高井戸 |
| | | | 千歳烏山 |
| 地区生活拠点 | 地区の交通手段との結節点 | バス交通等の端末交通手段との結節機能をもつ駅前広場の整備を進め、鉄道との乗り継ぎ利便性の向上を図る。 | 桜上水 |
| | | | 八幡山 |
| | 歩行者を主体とした結節点 | 駅前の歩行者空間やタクシー乗り場、自転車駐車場などの整備を進め、歩行者を主体とした交通結節機能の向上を図る。 | 代田橋 |
| | | | 上北沢 芦花公園 |



開かずの踏切 ●



沿線における駅の位置付け

世田谷区では、沿線の街づくりなどで駅前広場の整備や地区交通計画・施設を検討するとともに残されている公共交通不便地域*の解消を図っていきます。

京王線沿線地域は駅間が1km未満と短いため、利用者の方々は、拠点性やアクセスのしやすさ、鉄道ダイヤなどの様々な事柄を考慮し、利用駅を選ばれていると考えられます。そこで、駅前広場の整備にあたっては、駅の利用圏域を考慮して駅をグループ化し、グループ内の駅相互で交通結節機能の分担を行い、各駅の特성에応じた駅前広場を整備する必要があると考えています。

*最寄の鉄道駅から500m以上、バス停から200m以上離れている地域のことを公共交通不便地域と位置づけています。

駅の特性から駅を分類します。



世田谷区の都市整備方針や周辺市街地の状況、列車の停車状況などから、大きな利用圏域を持つ拠点性が高い駅と、利用圏域が小さな駅に分類します。

駅のグループ化を行います。

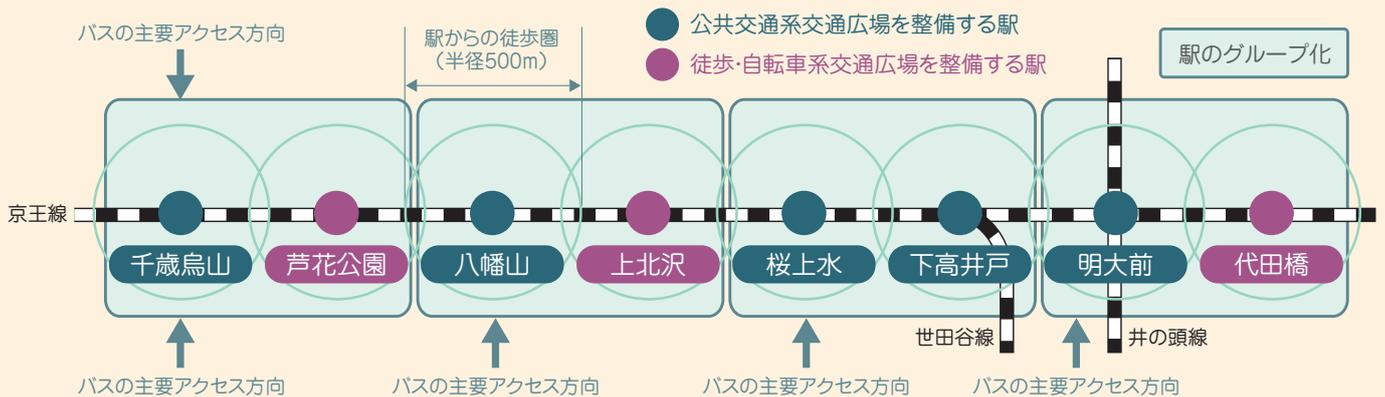


駅の利用圏域を考慮し、駅をグループ化します。

交通結節機能の分担を行います。

大きな利用圏域を担い、拠点性が高い駅では、バス等の公共交通系を導入した駅前広場を整備します。小さな利用圏域の駅では、歩行者・自転車系を中心とした駅前広場を整備します。

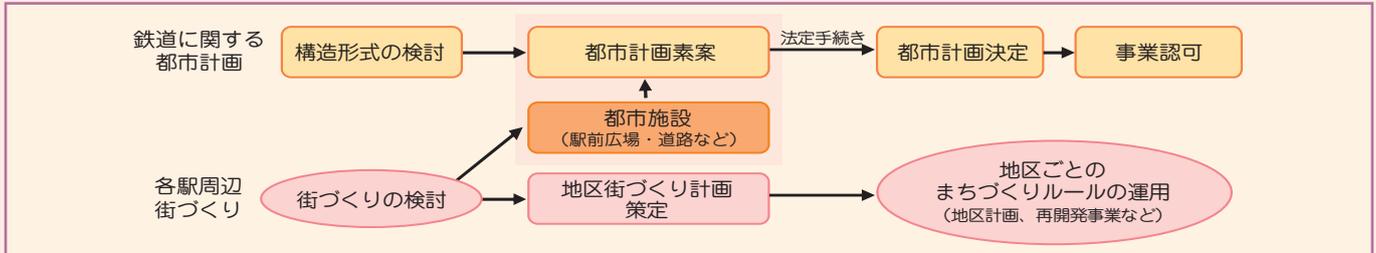
駅の考え方



③ 地区まちづくりの動き

沿線街づくりの流れ

現在、明大前駅、下高井戸駅、千歳烏山駅で、各駅周辺の街づくり計画を考えるための街づくり協議会が設立され、桜上水駅では、協議会設立へ向けた準備委員会が設立されています。今後、他の駅でも協議会が設立され、街づくりの機運がより高まっていくものと思われます。



※街づくり協議会は、世田谷区街づくり条例に基づき地区の皆さんや専門家が一緒になって地区街づくり計画の作成・提案を行い、街づくりのルールの適正な運用などについて検討することを目的とした団体です。

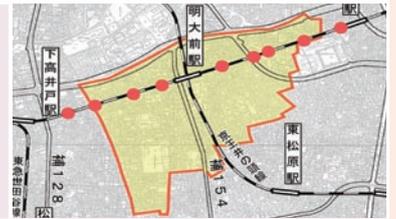
各駅周辺地区街づくり協議会の紹介

□：協議会での検討区域

● 明大前駅周辺地区街づくり協議会 (平成 18 年 12 月発足、会員数約 100 名)

具体的な活動の中心となる運営委員会に加え、駅前商業地区並びに駅周辺住宅地区の環境整備部会を設置し、松原1・2丁目及び松原5丁目の一部を範囲として地区街づくり計画の策定に向けた検討を進めています。

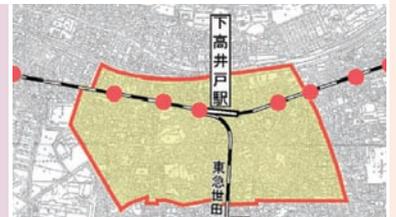
〒156-0043 世田谷区松原 2-45-1 明大前ピースメーカーズボックス内
TEL：03-3323-8121 FAX：03-3323-6514



● 下高井戸駅周辺地区街づくり協議会 (平成 18 年 10 月発足、会員数約 100 名)

世田谷区と杉並区の住民が一体となって地区街づくりに取り組む当協議会は、会の運営等を話し合う運営委員会を中心に、二つの部会 (地区全体街づくり検討チーム、駅前商店街街づくりチーム) により、今年中の地区街づくり計画の区提案に向け、活発な話し合いを毎月行っています。

〒156-0043 世田谷区松原 3-30-12 下高井戸商店街振興組合事務所内
TEL：03-3322-5945 FAX：03-5300-3347



● 千歳烏山駅周辺地区街づくり協議会 (平成 19 年 9 月発足、会員数約 70 名)

現在は、運営委員会を月に 1 回開催しています。会員全員が集まる協議会の総会は年に 1 度程度開催することを予定として活動しています。活動の最初の年にあたる H19 年度は現況と課題についての会員の皆さんの共通認識づくりを行うため、街歩き等を実施しました。



● 桜上水駅周辺地区街づくり協議会設立準備委員会 (平成 19 年 7 月発足、会員数約 20 名)

世田谷区と杉並区の住民が一緒になって地区街づくりに取り組んでいます。設立準備委員会は会の運営等を話し合う幹事会を中心に、本年6月の桜上水駅周辺地区街づくり協議会(仮称)の設立に向け、活発な話し合いを毎月行っています。地域住民の皆様のご参加をお待ちしています。

● その他の地区の状況

現在、代田橋駅、上北沢駅、芦花公園駅周辺地区では、地元の皆さまによる街づくり勉強会が発足し、地区街づくりについての話し合いが積極的に進められています。詳細は担当総合支所街づくり課までお願いします。



勉強会の様子



街歩きワークショップの様子



街歩きの意見交換の様子